ふるさと秋津（あさひば）の歴史

第一編

文化財・伝承・地名

あ・秋津　校区
さ・桜木　校区
ひ・桜木東校区
ば・若葉　校区

監修のことば

松野國策

この仲間が発足して一年、今その成果が出た。初めどのような形で進めるかの検討をしたが、既刊の歴史書を参考にしながら、それに漏れているものを拾い上げようという事になった。

特に地域の年表を整える事が重要としてその面にも留意したので、従来のお国自慢的な郷土史からの脱皮としての鳥瞰図的な又客観的なものの新しい姿ではないかと思っている。

歴史書はそれぞれの時代の空気に従って、資料の取捨選択がなされているが、今回は採り得た資料の原形を可能な限り残して、次代の検討の資に附したいと考えている。

もともと古事記、日本書紀の昔から史書は大上段に振り被ったのが多く、庶民の息づかいが少ないのが特徴であるので、庶民的なものも又必要と考えていたので、この資料はその意味で底辺への眼差しで捕らえた気がする。

参考になれば幸いである。

目次

はじめに　秋津地区　語り部学習会

監修のことば　松野國策

一　ふるさと秋津　のすがた……4

二　文化財マップ……7

1　マップ一覧表……8

三　校区別文化財……11

三・一　秋津校区……11

〔考古遺跡〕

1　下津代里遺跡……11

2　沼山津貝塚……11

〔寺　社〕

3　竹内神社　（たけのうち神社）……12

4　中無田熊野座神社……13

5　光輪寺　（かみの寺）……17

6　浄福寺　（しもの寺）……19

〔堂　宇〕

7　妙見社　（妙見さん）……20

8　中津代里薬師堂（堂ん前の観音さん）……21

9　下津代里稲荷社……22

10　鷲観音堂……22

11　野間薬師堂……25

12　新村の天満宮……25

〔石造物〕

水神さん……26

13　○中無田石塔水神……26

14　○中無田間島水神……28

15　○中無田野間橋際水神……29

16　○沼山津水神……31

17　○突井戸水神……32

地蔵群……33

18　○上津代里　外村組地蔵……34

19　○上津代里　内村組地蔵……35

20　○中津代里地蔵群……35

東小路地蔵……35

21　中小路地蔵……36

22　西小路地蔵……37

23　○中津代里（光岡氏方）地蔵……37

24　○下津代里　北村組地蔵……37

25　○下津代里　須崎組地蔵……38

26　○下津代里　彼岸花地蔵（現存しない）……39

○中無田地蔵群……39

27　上の丁下組地蔵……39

上の丁上組地蔵……41

28　下の丁地蔵……42

29　○新村地蔵……43

30　新村の弘法大師……44

31　三宝大荒神……45

32　上津代里石造物（酒井氏方）……46

33

34 中津代里墓地と板碑群……46
35 光永家墓地……47
〔史　跡〕
36 小楠公園……48
37 四時軒〔市指定有形文化財〕……50
38 四時軒跡〔市指定史跡〕……51
39 沼山津手永会所跡……51
40 沼山津舟場跡……54
41 舟運の中心　間島……54
水路跡……55
42 ○万蔵堀（万蔵井手）跡……56
43 ○新左衛門堀（しんじゃ堀）跡……56
44 ○裏井手跡……56
45 新左衛門の墓と記念碑……57
堰跡と堰回想……59
46 ○秋田堰跡……59
47 ○しんじゃ堀の堰跡……60
48 ○計路堰跡……61
49 ○鷺川の堰跡……62
50 ○沼山津堰跡……62
51 ○突井戸……63
52 鷺城跡……63
53 秋津村役場跡・秋津支所跡……64
54 秋田村元標跡……66
55 沼山津村元標跡……66
56 沼山津校跡……67
57 秋田　校跡……67
58 上田龍三郎先生（かみだりょうさん）の碑……68
59 耕地整理記念碑……69
60 圃場整備工事完成記念碑……71

二・一　若葉校区……73

〔寺　社〕
1 西無田雨宮神社……73
〔石造物〕
西無田地蔵群……75
2 ○西無田馬頭観音等地蔵三体……75
3 ○西無田馬頭観音・聖観音・地蔵の三体……77
4 ○西無田間島地蔵……78
水神さん……78
5 ○西無田間島水神……78
6 ○西無田水神……79

二・二　桜木校区……

〔考古遺跡〕
1 沼山津遺跡……82
〔寺　社〕
2 沼山津神社……83
〔史　跡〕
3 昭和町桜並木（イセキ桜）……84
4 東本町は三菱青年学校跡・井関農機工場跡……85

57 秋田　校跡……67
58 上田龍三郎先生（かみだりょうさん）の碑……68
59 耕地整理記念碑……69

三・四　桜木東校区……87

〔史　跡〕
1 追分の石……87
2 花立往還（木山往還）……88

四　伝説・史伝……90
1 天神木……90
2 ゆやろきき（由屋浮木）の権現……90
3 西南戦争と秋田村……91
4 三藤孫四郎と秋田小学校建設……92
5 かみだりょうさんの石油堀り……93
6 猫伏石……94
7 東野中学校の校名の由来……94

五　地名……95
五・一　村名・町名の移り変わり……95
五・二　字名……96
(1) 沼山津の字名……96
(2) 秋田　の字名……97
五・三　字名の分類……99
(1) 類似地名による分類……99
(2) 形態地名による分類……100
五・四　呼び名……100
五・五　地名考察……101

六　ふるさとの人物……103
六・一　秋津小学校出身者……103
六・二　歴史上の人物……106

七　付図
七・一　文化財マップ……110
七・二　昭和60年代初期の秋津の地図……111
七・三　西南戦争関係図……112
七・四　秋津水田旧水路遺跡図……113
七・五　字図――沼山津村……114
七・六　字図――秋田村……115
七・七　呼び名図―沼山津・桜木地区……116
七・八　呼び名図―秋田地区……117

一　ふるさと秋津（あ・さ・ひ・ば）のすがた

わたしたちのふるさと秋津地区（あ・さ・ひ・ば）は、熊本市の東部、健軍台地の南端にあり、東は益城町広崎、西は一部江津湖にのぞみ、南は益城町島田、一部は嘉島町に接していた。

地勢は、西北から北にかけては託麻原に連なり、阿蘇外輪の裾がなだらかに、北から南にのびた台地で、やがて秋津川に落ちている。台地は、阿蘇火山の噴出物におおわれているため、地表下は火山礫・灰石などで、水が浸透しやすく、従って地下水は深く台地（畑地）の井戸掘削は困難である。

台地は畑作地で、秋津川沿いには、東より沼山津・中無田・西無田の孤立した集落が形成され畑地の面積は、かっては三〇〇ヘクタール余りあったが、区画整理による宅地化のため残された面積も、現在では五〇ヘクタール余りと聞く。

秋津川の左岸は、沖積地で低地の水田であり、更に南に木山川・矢形川が西流し、これらの河川が地域の西端で合流して加勢川となる。

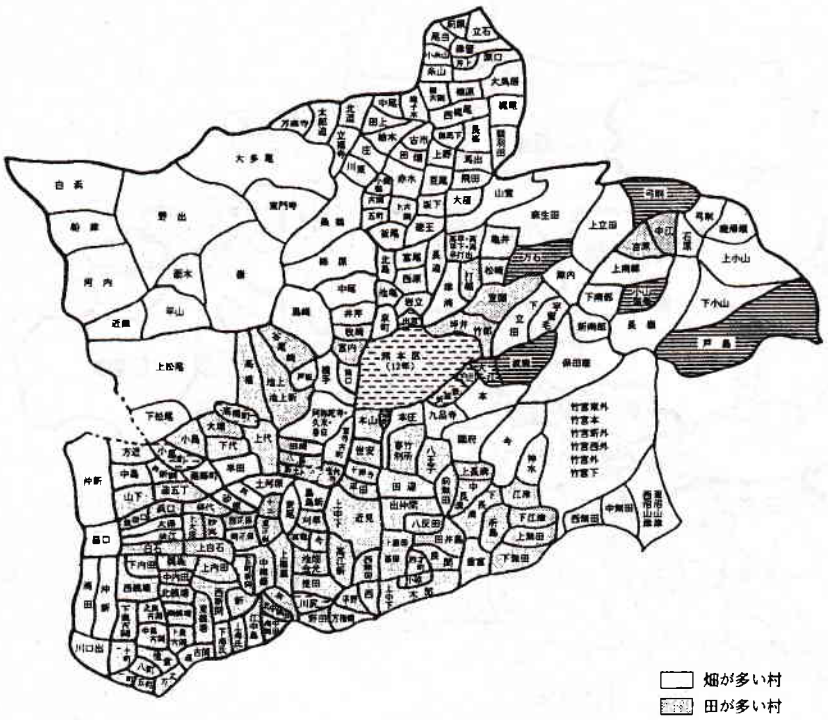
標高は、台地の北端小峰（小峯・小嶺）付近で四十七㍍と案外高く、沼山津貝原で五・五㍍、秋津川の水面からの高さは通常二㍍で、海岸線とは一五・五キロの隔たりで、水田と基盤圃場整備がなされたとは言え、立地的にいかに低地帯であるかが窺われる

県の特性として、寒暖の差が大きく、内陸性気候を示し、夏の暑さ、冬の寒さ、ともに厳しく、八月の最高気温の月平均は、三二・六度にも及ぶ。一月の最低気温の月平均は、〇・三度である。年降水量は、一九八八ミリ、年平均気温は、一六・六度である。

秋津地区（あ・さ・ひ・ば）は、『秋津・桜木・桜木東・若葉』の四校区で成立しており、その区域は、現在の町界名では

『熊本市沼山津一～四丁目・花立一～六丁目・桜木一～六丁目・秋津一～三丁目・佐土原二～三丁目・若葉一～六丁目・東野一～四丁目・秋津町秋田・秋津町沼山津・昭和町・秋津新町・栄町・南町・広木町・東本町（一部）』であり、これは

明治二十二年（一八八九）成立の『上益城郡秋津村』の村域であり、昭和二十九年（一



――「明治五年当時の自然村図」（『熊本県市町村合併史』熊本県1969年）より――

図３・０１　明治５年当時のムラムラ

（出所　新熊本市史別編第二巻）

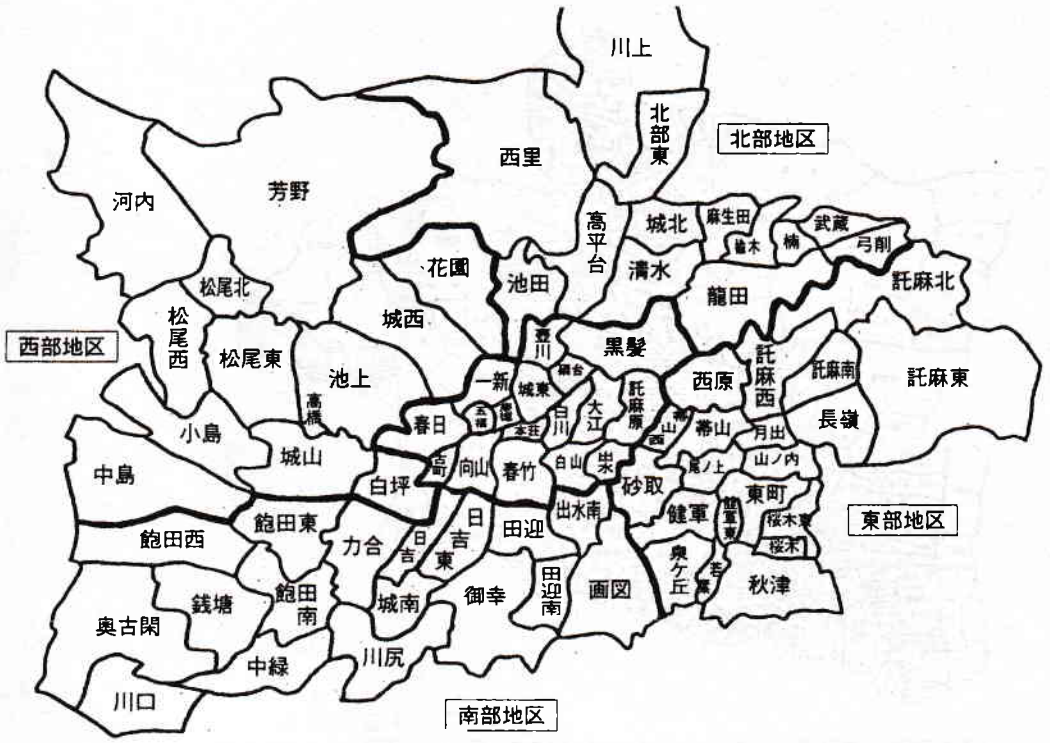


図３・０２　校区別地図

（出所　熊本市統計ＫＵＭＡＭＯＴＯ　21）

九五四）熊本市に編入した当時の『秋津町』の町域である。

その秋津町・秋津村は、中古は木山郷に属していた「沼山津村・西牟田村、中牟田村」と共に甘木荘に属していた「下牟田村」が、寛永十年（一六三三）からは沼山津手永に属する「沼山津村・西無田村、中無田村」と鯰手永に属する「下無田村」が元村である。（西・中・下の牟田三村は、寛永後「牟田」の字を「無田」を用いる。）

明治四年（一八七一）手永が郷に改められる。

元々一村であった「東沼山津村と西沼山津村」が、明治八年（一八七五）に合併して沼山津村が成立。

明治九年（一八七六）上益城郡のうち「中無田村・西無田村・下無田村」と託麻郡健軍村のうち「野間」が合併して「秋田村」が成立。

その間今まで沼山津村の内であった「東無田」が飯野村の方にいき、健軍村のうちであった「鶯原」が秋田村に編入されている。

明治二十二年（一八八九）の市町村制施行で上益城郡秋田村と上益城郡沼山津村が合併して「秋津村」が成立。

旧村名を継承して二大字「秋田・沼山津」を編成。村役場を沼山津に置く。

村名は、秋田の「秋」と沼山津の「津」をとり、「秋津州（あきつしま）」と言われる日本の古名になぞらえて命名されたと言う。

秋津村誕生により、現在地に秋津尋常小学校が設立される。

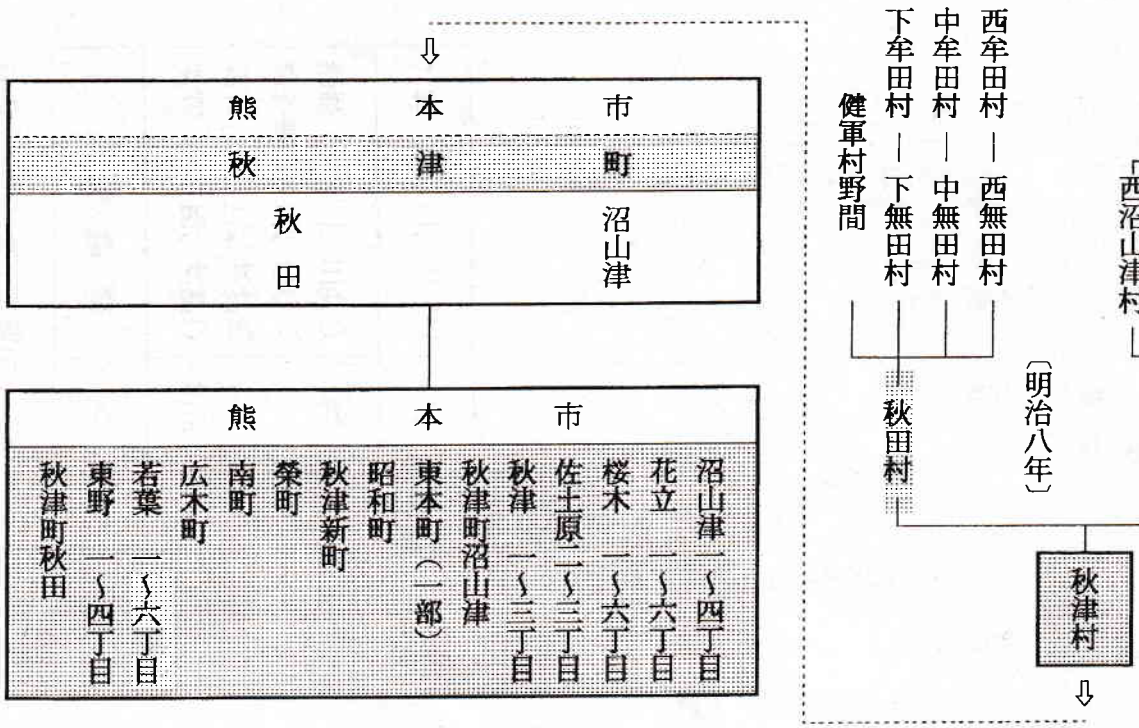
旧上益城郡秋津村は、東西三二町三〇間（二三〇四㍍）・南北一里五町四〇間（四三二九㍍）・面積約六・六平方キロの広さを有すると共に、加勢川・旧木山川（現秋津川）・旧赤井川（現木山川）が合流する所で、県内でも最も水の豊富な地域であっし，反面秋津川以南の水田は近世以来の水害常習地帯で近代に至っても前記三河川の大改修が進められた。

秋津の歴史は、集落こぞっての三集落移転に象徴される苦しみや幾多の水利事業・土地改良事業・圃場整備等水害との戦いにつきると言っても過言ではなく、七ケ所も祀られている水神信仰にその願いがあらわされている。

特産は蔬菜で、特に白菜・大根が多く、またスイカは北九州にまで声価を馳せた。

昭和十七年（一九四二）熊本市健軍町に三菱重工業株式会社熊本航空機製作所が設立され、それにともなって宿舎の一部（社宅・　独身寮）と技能者養成の三菱熊本青年学校が

（出所　熊本市統計KUMAMOTO　21）



特産は蔬菜で、特に白菜・大根が多く、またスイカは北九州にまで声価を馳せた。

昭和十七年（一九四二）熊本市健軍町に三菱重工業株式会社熊本航空機製作所が設立され、それにともなって宿舎の一部（社宅・独身寮）と技能者養成の三菱熊本青年学校が昭和十八年（一九四三）当村に建設され、純農村が一大変貌する要因となる。

同二十年（一九四五）西隣の健軍町まで熊本市電健軍線が開通し、戦後は熊本市周辺の住宅地化が進む。

明治二十四年（一八八七）の戸数・人口は　四三九戸・二二三五人（男一一〇五・女一一三〇）世帯数・人口は大正九年　（一九二〇）　四六五戸・二四五八人
昭和十年　（一九三五）　五一二戸・二八八九人
昭和二十五年（一九五〇）　八四六戸・四四一七人と戦後倍増する

昭和二十七年（一九五二）四月に、住民の変則状態解消のため、秋津村大字秋田の一部が熊本市に編入。次いで昭和二十九年（一九五四）十月には、秋津村が熊本市に編入され、熊本市秋津町となり、村制時の大字は秋津町を冠称し同市の町名に継承。

即ち秋津町沼山津と秋津町秋田となり、同年熊本市役所秋津支所設置。

熊本市の東部発展に伴い、漸次開発が進む。一部が昭和三十一年（一九五六）栄町・東本町・南町・若葉町。　同三十四年（一九五九）昭和町・秋津新町・東原町。

同四十一年（一九六六）東野一～四丁目。　同四十五年（一九七〇）花立一～四丁目・桜木一～四丁目・沼山津一～三丁目。　同四十八年（一九七三）若葉一～六丁目・広木町。

同五十六年（一九八一）昭和町・花立一～四丁目となる。

町名町界変更で同六十三年（一九八八）東野一～四丁目・秋津一～三丁目。

平成元年（一九八九）秋津新町・東本町・昭和町・花立一～六丁目・桜木一～六丁目。

同四年（一九九二）東本町・佐土原一～三丁目が実施される。

秋津町秋田と秋津町沼山津は、秋津川以南の水田地帯の町名としてその名を留めているに過ぎない。

昭和三十八年（一九六三）以後現主要地方道熊本高森線が二二メートルに拡幅され、健軍秋津地方の主要道路となり、沿線に商店・事業所が立ち並ぶ。

昭和三十七年（一九六二）若葉小学校・東野中学校新設。昭和四十二年（一九六七）小楠公園設置。昭和四十六年（一九七一）桜木小学校新設。

昭和五十七年（一九八二）四時軒復元・横井小楠記念館開館など、小楠関係施設が整備された。

昭和六十年（一九八五）秋津市民センター開設。平成元年（一九八九）秋津小学校百周年記念行事が行われる。

平成一四年二月一日現在

	世帯数	人口
秋津	四、九四〇	一三、一七九
桜木	二、九九四	七、七七三
桜木東	二、〇〇八	五、六二〇
若葉	二、三八〇	五、四九〇
計	一二、三二二	三二、〇六二

平成六年（一九九四）桜木中学校開校。十六年に及ぶ圃場整備事業終結。

平成十年（一九九八）桜木東小学校開校。

わたしたちのふるさと秋津地区（あ・さ・ひ・ば）は、戦中の三菱熊本の建設が一大転機となり、健軍と共に戦後半世紀の間に人口七倍強と大きく変貌し、発展してきた。しかし、それは永年にわたる先人達の血のにじむような水害との戦いの上に成り立っていることを忘れてはならない。

その秋津地区は、現在世帯数一万二千三百二十二戸・人口三万二千六十二人（平成十四年二月一日現在）の人々が住む町となっている。

（秋津小百周年記念誌　秋津の歴史・秋津村略史・角川日本地名大辞典　四三熊本県

追記　語りべ学習会）

二・文化財マップ

秋津地区の、考古遺跡3ケ所・寺社六ケ所・堂宇七ケ所・水神や地蔵等の石造物が二十七ケ所・史跡が二十九ケ所・計七十二ケ所を紹介する。

校区別には、当然母なる校区である秋津校区に八割強が集中している。秋津校区六十ケ所若葉校区六ケ所・桜木校区四ケ所・桜木東校区二ケ所の分布となる。

校区別分布状況は次表の通り。詳細は次ページのマップ一覧表を参照のこと。

	考古遺跡	寺社	堂宇	石造物 水神	石造物 地蔵	石造物 他	史跡	合計
秋津校区	2	4	7	5	14	3	25	60
若葉校区		1		2	3			6
桜木校区	1	1					2	4
桜木東校区							2	2
合計	3	6	7	7	17	3	29	72

１．　マップ一覧表

分　類	番　号	名　　称	所　　在　　地	校　　区	頁
考古遺跡	1	沼山津遺跡	沼山津２丁目～桜木２丁目	桜木校区	81
	2	下津代里遺跡	沼山津１丁目	秋津校区	11
	3	沼山津貝塚	秋津３丁目１７－１　（1387番地）（秋津浄化センター内）	〃	11
寺　社	１１	沼山津神社	桜木２丁目１６　（757 番地）	桜木校区	82
	１２	竹内神社	沼山津４丁目　２	秋津校区	12
	１３	光輪寺（上の寺）	沼山津４丁目　８－　７	〃	17
	１６	浄福寺（下の寺）	沼山津３丁目　８－５５	〃	19
	１９	中無田熊野座神社	秋津３丁目４－３８　（1864番地）	〃	13
	２２	西無田雨宮神社	若葉６丁目１－２０　（1051番地）	若葉校区	73
堂　宇	１４	妙見社（妙見さん）	沼山津４丁目　５－４５	秋津校区	20
	１５	中津代里薬師堂（堂ん前の観音さん）	沼山津３丁目１０	〃	21
	１７	下津代里稲荷社	沼山津２丁目１４　（1620番地）	〃	22
	１８	鶯観音堂	秋津３丁目２	〃	22
	２０	野間薬師堂	秋津１丁目１－７４	〃	25
	２１	新村の天満宮	東野１丁目３－７７	〃	25
	６２	三宝大荒神	沼山津４丁目５－２５の東側	〃	45
石造物	３１	突井戸水神	秋津町沼山津　（上沼山津橋上流）	〃	32
	３２	沼山津水神	秋津町沼山津　（沼山津橋上流）	〃	31
	３３	中無田石塔水神	秋津町秋田字計路　（鉄塔脇）	〃	26
	３４	中無田間島水神	秋津町秋田字月の輪　（水門脇）	〃	28
	３５	西無田間島水神	秋津町秋田（秋津・木山川の合流点）	若葉校区	78
	３６	中無田野間橋際水神	秋津町秋田字前塘の元　（野間橋）	秋津校区	29
	３７	西無田水神	秋津町秋田字筏場	若葉校区	79
	４１	上津代里．外村組地蔵	沼山津４丁目　６－６０	秋津校区	34
	４２	上津代里．内村組地蔵	沼山津４丁目　７	〃	35
	４３	中津代里．東小路地蔵	沼山津３丁目１１－　１	〃	35
	４４	中津代里．光岡氏方地蔵	沼山津３丁目　９－３７	〃	37

合計	桜木東校区
3	
6	
7	
7	
17	
3	
29	2
72	2

分類	番号	名称	所在地	備考	頁
石造物	45	中津代里．中小路地蔵	沼山津3丁目13－7	秋津校区	36
	46	中津代里．西小路地蔵	沼山津3丁目14－11	〃	37
	47	下津代里．北村組地蔵	沼山津2丁目14－48(1608番)	〃	37
	48	〃　須崎組地蔵	沼山津1丁目25－77(1649番)	〃	38
	49	中無田．上の丁下組地蔵	秋津3丁目　2－58	〃	39
	50	〃　．上の丁上組地蔵	秋津2丁目14－24	〃	41
	51	〃　下の丁　地蔵	秋津2丁目12－32	〃	42
	52	新村地蔵	東野1丁目19－32	〃	43
	53	西無田・間島地蔵	若葉5丁目　4－50	若葉校区	78
	61	上津代里石造物	沼山津4丁目5－46（酒井氏方）	秋津校区	46
	63	光永家墓地	沼山津3丁目10	〃	47
	〃	中津代里墓地と板碑群	〃	〃	46
	64	下津代里．彼岸花地蔵	沼山津3丁目17－1（秋津浄化センター内）	現存しない	39
	65	新村の弘法大師	秋津新町4（水玉公園内）	秋津校区	65
	66	西無田馬頭観音・聖観音・地蔵の三体	若葉6丁目　2－53（神社側）	若葉校区	77
	67	〃　馬頭観音等地蔵三体	若葉6丁目　6－46（東側）	〃	75
史跡	71	四時軒（市指定有形文化財	沼山津1丁目25－91	秋津校区	50
	71	四時軒跡（市指定史跡）	〃	〃	51
	72	秋津村役場跡・秋津支所跡	沼山津2丁目（1517-1番地）	〃	64
	73	沼山津手永会所跡	沼山津3丁目10－87の隣	〃	51
	74	沼山津村元標跡	沼山津3丁目13－7（1771番地堂床前）	〃	66
	75	沼山津校跡	沼山津3丁目11－43（上田氏宅）	〃	67
	76	沼山津舟場跡	秋津町沼山津	〃	54
	77	上田龍三郎先生の碑	沼山津3丁目4－33	〃	68
	78	小楠公園	沼山津4丁目11番地	〃	48
	79	追分石	桜木4丁目19	桜木東校区	87
	80	花立往還（木山往還）		〃	88
	81	三菱青年学校跡・井関農機工場跡	東本町	桜木校区	84

分　類	番　号	名　　称	所　　在　　地	備　　考	頁
史　跡	82	昭和町桜並木（ｲｾｷ 桜）	昭和町	桜木校区	83
	83	鷺城跡	秋津３丁目　（中無田吉住氏宅）	秋津校区	63
	84	鷺川の堰跡		〃	62
	85	秋田校跡	秋津１丁目２番付近（字野間原）	〃	67
	86	秋田村元標跡	秋津１丁目２－２０（2046番地）	〃	66
	87	耕地整理記念碑	秋津町秋田　（中無田橋際）	〃	69
	88	秋田堰跡	秋津町秋田	〃	59
	89	新左衛門の墓と記念碑	秋津町秋田（県道六嘉秋津新町線沿い）	〃	57
	90	しんじゃ堀の堰跡	〃	〃	60
	91	新左衛門堀（しんじゃ堀）跡	〃　（水田内）	〃	56
	92	計路堰跡	〃	〃	61
	93	舟運の中心　間島	〃	〃	54
	94	万蔵堀（万蔵井手）跡	秋津町沼山津　（水田内）	〃	56
	95	裏井手跡	秋津町秋田　（水田内）	〃	56
	96	圃場整備記念碑	秋津町沼山津３１０１－１（土地改良区内）	〃	71
	97	突井戸跡	秋津町沼山津	〃	63
		沼山津堰跡	益城町福富地内		62

２　マップ　　付図７・１参照